

そして子どもたち
に交じってお兄
さん・お姉さんの
姿もあります。羽
村市が包括連携協
定を結んでいる日
本航空高校石川の
皆さんです。国際
クラブをはじめ18
人が集まってくれ



子どもたちが手に水でつぼうを持って、
S&Dスポーツパーク富士見に集まっていま
す。中にはペットボトルを使ったお手製のもの
を持っている子もいます。
7月11日、「青少年サマーフェスティバル」
みんなで水でつぼう大会」が初めて開催され
ました。
これは羽村市青少年対策地区委員会連絡協
議会が開催したイベントで、市内全域から集
まった子どもたちを、くじでチーム分けして試
合を行います。
ルールは簡単、金魚すくいなどに使う「ボー
イ」を頭に付け、それを水でつぼうでうちぬかれ
たら退場。試合終了時に残っている人数の多い
チームが勝ちです。
東京の梅雨明けはまだだったものの、この日
の気温は30℃を超え、絶好の水でつぼう日和
です。

ました。高校生もくじを引いて各チームに加
わります。
コーンで区切られたフィールドに、水を満
タンに入れた水でつぼうを持って、頭にボーイを
くくりつけた小学生と高校生が並び合います。
3分間一本勝負、ハラハラドキドキの水でつぼ
う大会の開始です！
低学年は最初から入り乱れて水でつぼうを
うち合いますが、高学年は少しずつ距離を詰
めて、相手の出方を伺いながらうち合っていま
す。そんな中で走って相手に飛び込んでいく
姿が！日本航空高校石川の高校生です！



そこからどんどん水が飛び交うようにな
り、段々とボーイに穴の開いた人数が増えてい
き、試合終了。
水と汗でびしょびしょの子どもたちは、勝
ち負けはともかく、とても楽しんでいました。
楽しい時間はどんどん過ぎていき、全ての
試合が終わる頃にはみんな汗がぬれ、暑くて
冷たかった水でつぼう大会は、子どもも大人も
お兄さんお姉さんも、みんな笑顔になって幕
を閉じました。



暑さをうちぬけ！ みんなで水でつぼう大会！ ～子どもも大人もお兄さんお姉さんも～

問合せ 子ども政策課 260

市では、令和7年に羽村市こども計画を定
めました。計画で目指している「子どもが幸
せな状態で生活を送れる社会、こどもまんな
か社会」を実現するため、今回のイベントで
は青少年対策地区委員会連絡協議会と協力し
て子どもの体験機会の創出に取り組みました。
今後も市民の皆さん、さまざまな団体と一
緒に計画を推進していきます。

